

# 図書館からおすすめ本

Vol.257 2025/1/3  
甲南女子中高・図書館



夏の始まり7月！熱中症に気を付けて！涼しい図書館でクールダウン読書でもいかがですか？

## 『数学を生み出す脳』

中井 智也 著 408/I/332



数の大まかな把握はヒトだけでなく多くの動物にもできますが、正確に数え、計算する能力は人間だけが持つ特別な能力です。心理学や認知神経科学の目線に加え、最先端の機械学習技術による成果も含め、「数学」を脳と心、そして言語の分野にどのように作用しているのかを解明していきます。計算で使う数学とはまた違う目線で見る数学の役割が興味深いです。

## 『ヘタレ人類学者、沙漠をゆく：僕はゆらいで、少しだけ自由になった。』

小西公大 著 382.25/K



【じっとしていられない。よく忘れ物や物を無くす。良かれと思ったことが裏目に出る。大事な局面ほど失態をやらかす。これらが、僕をヘタレな存在たらしめる要因たちだ。】ここまで不器用な著者が、単身でインドに乗り込んだ理由、それは『自分を壊すため』。自分をそれまでの人の間など線を引かず、枠を飛び越え、インドでもみくちゃにされながらも、成長していく著者の本書は、未知の世界へ一步を踏み出す勇気をくれる心強い一冊です。

## 『自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門』

箕曲在弘 著 389/M



自分以外の、誰かの目線で見る文化人類学とは。「家族の定義とは血縁が全て。」「非科学的なものは全てウソ。」「日本は無宗教が多い。」それって本当ですか？自分の思う当たり前が、実は当たり前ではなかったことに気づく驚きと衝撃。色々な考え方、価値観をもつ人々と出会ったときのために、広い視野と考え方を教えてくれる文化人類学入門本です。

## 『珈琲怪談』

恩田陸 著 913.6/On



暗闇の中、ろうそくを灯して不気味に語るのが定番の怪談。しかし本書の舞台は、なんと喫茶店。しかも語り部は職業も住む場所も違う男四人。大阪・神戸・京都・横浜と、なぜ彼らは集まり、怪談を語り合うのか。不気味さとは一変、珈琲を片手に、お茶請け代わりの怪談は、おしゃれな怖さを演出する、新感覚怪談小説。

## 『小説』

野崎まど 著 913.6/Noza

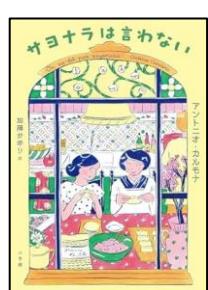


主人公の内海集司は、5歳にして「走れメロス」に感銘を受け、そこから彼の小説人生が始まった。

十二歳になり、小説の魅力を共有できる親友・外崎真と、モジヤ屋敷に住む小説家の髭先生との出会いから、ますます小説の魔力に引き込まれていく。しかし、その屋敷と髭先生にはある秘密があった。宇宙と小説と哲学、そしてファンタジーが織り成す「小説」の小説です。

## 『サヨナラは言わない』

アントニオ・カルモナ 著 加藤かおり 訳 953.8/K



日本人のママが亡くなり、パズルにのめり込む12歳の女の子、エリーズ。妻を亡くしたあと、娘に日本語や日本のアニメを禁止し、泣きたいときはタマネギを切ってごまかすパパ。

漫画NARUTOのサスケに恋をして、エリーズと一緒にこっそり日本アニメを楽しむ親友のステラ。

そして、日本から単身フランスにやってきたソノカおばあちゃん。

子どもの視点から、死と向き合い、親や友だとのつながりを通して自分を見つめ直して再生していく、心あたたまる小説です。

## 『あっゴジラ』

キューライス作 P91/K



ある日、ベランダから見えたのは、まさかの大怪獣ゴジラ！自由気ままなゴジラの様子を観察していると、ついにゴジラ目が合って…。アカデミー賞を受賞し、今年で誕生70周年を迎えるゴジラの節目に、人気イラストレーター・キューライスによる、ゴジラやモスラも登場する、ゆる～くかわいらしい怪獣絵本になります。

## ～夏らしい雑学コーナー～

【問題：風鈴の音には涼しくなる効果がある】

○か？×か？

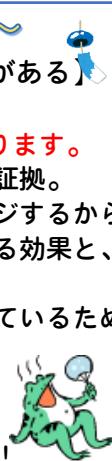
正解：○ 風鈴の音には、清涼効果があります。

- ①条件反射。風鈴が鳴るのは風が吹いている証拠。風鈴の音色から脳が「風=涼しい」とイメージするから。
- ②風鈴の音には、癒しの脳波=α波を誘発する効果と、リラックスを促す高周波音が含まれており、これが暑さによる不快感やイライラを緩和しているため。

風鈴は、江戸より伝わる涼の知恵。

まだ科学知識が乏しい時代に、

その効果を発見していたなんて、驚きですね！





# 今月の新着から



## ■3 社会科学

『「コーダ」のぼくが観る世界』 五十嵐大 著 369.276/I

## ■4 自然科学

『動物たちの江戸時代』 井奥成彦 編著 480.21/I

## ■5 技術

『トーストの発想と組み立て』 ナガタユイ 著 596.63/N

## ■7 芸術

『美しいをさがす旅にでよう』 田中真知 著 701.1/T

『葛屋重三郎と若き芸術家たち』

濱田信義 編著 721.8/H

## ■9 文学

『落雷と祝福』 岡本真帆 著 911.168/O

『それいけ！平安部』 宮島未奈 著 913.6/Miya

～司書・S・I がオススメする～  
夏に読んでほしい1冊



『キツネ山の夏休み』

富安陽子 著 あかね書房

夏休みの間、稻荷山のおばあちゃんの家で過ごすことになった・弥。キツネに守られた町で不思議なひと夏を過ごします。

～この本に出会ったのは小学生の頃。  
作中で出てくる「水まんじゅう」という和菓子に興味津々でした。本校にはない本ですが、見つけたら是非読んでみてください。日本の夏を感じることができますよ。～

## ■文庫・新書

『本ができるまで』 岩波書店編集部 編 081.9/I/999

『もっと学びたい！と大人になって思ったら』

伊藤賀一 著 081.9/I/490

『体験格差』 今井悠介 著 369.4/I

『ひのえうま』 吉川徹 著 387.91/Ki

『手術はすごい』 石沢武彰 著 494.65/I

## ■絵本

『もしものせかい』 ヨシタケシンスケ 著 P91/Y



**【10冊貸出が始まります!】**

7月8日(火)～8月30日(土)まで、  
**一度に借りられる冊数が  
10冊になります!**  
**この機会にたくさん本を  
読んでみませんか?**



～今年の夏も暑いですね。  
適度に涼しい部屋で、読書。  
夏ならではの楽しみ方です。  
身体に気を付けて、猛暑を乗り切いましょう！～

